

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連 携推進事業	防災	自主防災組織地域版防 災マップ作成事業	【事業の目的】 自主防災組織が、住民主体で話し合いながら地域版防災マップを作成することで、住 民の自助・共助の意識の醸成と防災意識の高揚を図り、「市民とともにつくる災害に 強いまちづくり」を推進する。 【事業の内容】 ・地域版防災マップ作成ワークショップに職員が出向き、地域による防災マップの作 成を支援する。 ・自主防災組織が未結成の自治会に対し、地域での協議、規約の作成等を例示するな ど組織結成支援を行う。	2,399	1,199	・地域版防災マップに基づく訓練実施 率 38.4% ・地域版防災マップ（マイタイムライ ン）作成組織数 253組織	マップを作成した自主防災組織では、 地域でしか分からない細かな災害リス ク、有効な避難経路、避難のタイミン グ等を住民同士で共有することができ ており、住民主体で話し合いながら地 域版防災マップ（マイタイムライン） を作成する現在の手法については、地 域住民の自助・共助の意識の醸成と防 災意識の高揚に繋がっているものと評 価できる。
2	地域づくり連 携推進事業	防災	自主防災組織育成補助 事業	【事業の目的】 地域の助け合いの活動を組織的に行う自主防災組織の新規設置、運営、連携に対し て補助制度による支援を行うことで、全市域での自主防災組織の設置促進と育成、活 動の強化と継続性を確保し、地域防災力の向上を図り、「市民とともにつくる災害に強 いまちづくり」を推進する。 【事業の内容】 ・自主防災組織の設置及び運営について補助制度に基づく次の支援を行う。 （1）設置補助（2）運営補助（3）連合補助	1,295	647	・自主防災組織の組織率 91.7% ・自主防災組織設置補助数（年間）1件 ・自主防災組織運営補助数（年間）72 件	近年減少傾向であった新規結成は、地 域版防災マップの作成と共に促進でき た。運営補助を活用した自主防災組織 では、地域に必要な災害対応用の資機 材や避難のために必要な物品の整備を 計画的進めており、地域住民の自助・ 共助の意識の醸成と防災意識の高揚に 繋がっているものと評価できる。
3	地域づくり連 携推進事業	防災	防災マップ整備事業	【事業の目的】 国管理河川に加え府管理河川の想定最大規模の浸水想定が公表されたことに伴い、本 市総合防災ハザードマップを更新、全戸配布を行う。また、福知山市独自の防災アプ リ「福知山市防災」に、更新したハザードマップと連携した機能を追加することで、 地域防災力の向上をめざす。 【事業の内容】 ・本市総合防災ハザードマップ更新、全戸配布。 ・福知山市独自の防災アプリ「福知山市防災」に更新したハザードマップと連携した 機能を追加	3,432	1,716	・広域避難所の整理 100% ・地区避難所の整理 100% ・ハザードマップ作成 100%	・冊子形式の総合防災ハザードマップ に加えて、インターネット上でも確認 ができるデジタル防災ハザードマップ を公開するとともに、これらに音声言 語機能、多言語翻訳機能を加えて、よ り多くの人がハザードマップを確認出 来ることとなった。また、防災アプリ のハザードマップ印刷機能の追加や地 図機能の更新を行い最新情報をスマー トフォンからも確認出来るものとし、 市民の避難行動、防災教育の推進から も有効となる事業となった。
4	地域づくり連 携推進事業	子育て 応援	響プランFまなびの充 実事業	【事業の目的】 響プランF（福知山市立学校教育内容充実プラン）に基づく確かな学力を定着させる 取組などにより、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が、学力を向上させ、自 らの可能性をしっかりと伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生き ていく力を育てる教育を推進する。 【事業の内容】 ・京都府学力学習状況調査における非認知能力評価の活用 ・学校における基礎学力定着のための取組 ・課題のある児童生徒に対する校内補充学習や家庭訪問等による子育て相談、家庭学 習習慣の定着 を図る取組 ・小学校補習学習の学習サポーターとして福知山公立大学生を配置	2,373	1,186	・小6全国学力状況調査（算数）におけ る低学力層の割合の減 +5.3 ・中3全国学力状況調査（数学）におけ る高学力層の増 -7.2	全国学力学習状況調査の結果等を踏ま えた成果指標とし、児童生徒の学力に ついて、本市と全国平均を基準とした 比較評価を行った。「響」プラン・F に基づく、児童生徒の学力の向上・充 実を目指すために計画していた取組に ついては、予定どおり実施し、基礎学 力の定着や子どもの可能性を伸ばすた めの教育機会を提供できた。
5	地域づくり連 携推進事業	子育て 応援	響プランF心の充実事 業	【事業の目的】 響プラン・F（福知山市立学校教育内容充実推進プラン）に基づき、芸術や文化、 SDGs、職業等のさまざまな体験機会を充実させ、子どもたちの豊かな心とあらゆる可 能性を伸ばすことを目的とした取組を進める。 【事業の内容】 ・「本物」の芸術・文化体験（博物館、京文化体験、劇団四季鑑賞など） ・SDGs体験学習の実施 ・各校で実施する歴史・文化学習や職業体験活動等にかかる経費を支援。	19,135	9,567	・小6全国学力状況調査回答率（自分 のよいところがあると思う） 86.7 ・中3全国学力状況調査回答率（将来 の夢や目標を持っている） 61.5 ・体験活動の参加率 96.3	小学4年生の体験では、児童が事前に机 上で学習してきた京都の伝統文化等 について実際に体験活動を行うことで身 近に感じ、文化の継承を行う契機と なった。小学5年生の体験では、新しい 食器導入に際し、製造元であるパナソ ニック工場を見学することで、SDG sや 環境に対する取組についての理解を深 めることができた。また、中学1年生の 観劇では、リアルな舞台芸術と舞台を 創る多くのスタッフの役割を学び、豊 かな心や感性を育む契機、キャリア教 育のひとつとなった。

6	地域づくり連携推進事業	環境	エネルギー環境基本計画推進事業	【事業の目的】 市民一人ひとりが環境問題を身近に捉え、再生可能エネルギーの普及を通して、温室効果ガスの排出削減に取り組むための指針を示すとともに、環境問題や自然との共生を自分事として捉える機運の醸成を図り、次世代に誇れる環境に配慮したまちづくりの実現をめざす。 【事業の内容】 ・福知山環境会議のリーダーシップにより、活動の企画と市民参加の募集を行い、市民協働による環境活動を実行する。	588	294	・プロジェクト活動参加人数 1,373人 ・プロジェクト活動実施回数 45回	プロジェクトの実施回数は前年度よりも増加し、地球温暖化防止や環境保全につながる活動を市民とともに実施できた。環境セミナープロジェクトでは、3回にわたり連続環境講座を実施し、プラスチック問題を学び、マイボトルの普及につながる活動が出来た。
7	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	アクティブシティ推進事業	【事業の目的】 市民の身体活動（運動やスポーツなど）を盛んにすることで、アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（心的・身体的・精神的な充足感が満ちている）な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、市民団体、民間企業などと協働して事業展開を図る。 【事業の内容】 ・市民主体の健康づくりの動機付けとして市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進 ・アクティブシティ推進アドバイザーによる情報発信、講座等の企画実施 ・市民団体等参画の「アクティブシティ推進市民会議」を開催 ・福知山市アクティブシティ推進事業補助金の活用推進 ・アクティブシティ推進イベントの開催 ・庁内の関係課（室）で「アクティブシティ庁内戦略会議」を開催	10,144	5,072	・平均自立期間（男性/女性）79.8歳/83.9歳 ・アクティブシティ推進市民団体 9団体 ・福知山KENPOSアプリ登録者数 6237人	・市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」は、登録者が令和5年度目標の6,000人を超え、市民自らが実践する健康づくりに活用されている。 ・アクティブシティ推進アドバイザーによる幅広い年代層への事業展開により、アクティブシティ推進の取組を広く発信できた。 ・市民会議を開催し、市の現状や市民団体による活動等について情報共有や意見交換を行い、アクティブシティ推進イベントの協働実施や各団体間のネットワークづくりにつなげた。 ・市民団体が企画・実施する健康増進事業に対して補助金を交付し、広く市民を対象とした民間主導による事業が実施できた。 ・庁内戦略会議の開催により、他部署とも連携し、イベント等の事業を展開できた。
8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	福知山鉄道館運営事業	【事業の目的】 「鉄道のまち」の歴史とアイデンティティを体现し、すべての世代が楽しめる施設として令和5年8月に開館を予定する福知山の新しい鉄道館を運営し、「鉄道のまち」の歴史を伝える。 【事業の内容】 ・福知山鉄道館の開館準備、運営及び維持管理 ・オープニングイベントの実施	16,536	8,268	入館者数 28,097人 企画展示回数 1回	初年度としては大きなトラブルもなく、展示内容、体験コンテンツ、SNS等での発信などそれぞれで一定の質を確保することができ、鉄道とともに発展してきた福知山市の歴史とアイデンティティを本市の子どもたちに伝え継承するとともに、その魅力を広く周知し本市への誘客につなげることできる施設として運営することができた。
9	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	外国人等介護職員雇用推進事業	【事業の目的】 介護人材不足に対応するために市街や外国からの人材確保を行う法人に対し支援を行い、介護サービスの充実を図る。 【事業の内容】 ・福知山市介護職員雇用奨励金の交付 ・福知山市外国人介護人材家賃補助金の交付	4,796	2,267	・雇用奨励金交付人数 37人 ・外国人介護技能実習生等の受入人数 3人	一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会に対する面談による制度説明及び市内介護事業所等への周知文書送付により、制度利用は順調に行われ、介護人材の確保による介護サービスの充実に貢献した。
10	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	高血圧制圧のまちプロジェクト事業	【事業の目的】 市民の健康寿命を延伸するために、脳血管疾患や心疾患、腎臓病や認知症等多くの疾病リスクを高める高血圧症予防に関する取り組みを早い段階から実施し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進する。 【事業の内容】 ・市立福知山市民病院と連携した高血圧なるほど講座（予防プログラム）の開催と事後フォロー ・年代層に応じた講座の開催（小学生向け、若い世代等） ・減塩給食の継続と食育支援 ・広報ふくちやま, SNS, 中央図書館等での啓発や野菜メニューの考案・紹介 ・市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」内に血圧記録機能の追加 ・「福知山KENPOS」を活用したアンケート調査及び血圧データ調査分析	726	343	・疾病別標準比 1.17ポイント ・国保1,000人当たりの患者数 447.7人 ・福知山KENPOS血圧記録機能利用者（月3回以上） 831人	・市民病院と協働した予防プログラム講座を高血圧症罹患者の割合が高い地域から順に実施を進めており、生活習慣改善に向けての指導や事後フォロー支援が継続できた。 ・小学生を対象とした講座では、参加者含め家族や友人等を巻き込んだ生活習慣改善や啓発につながり、効果的であった。 ・市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」内に記録された血圧データ等分析により、血圧と、運動、食生活、健診受診履歴との関連性が見られた。これらの調査結果は今後の事業展開に活用していく。

11	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	災害対応力向上事業	【事業の目的】 市内の社会福祉法人等が、社会貢献として実施する災害時における地域の要配慮者に対する支援活動を促進し、支援が必要な方への対応を含めた防災力の向上を図るとともに、福祉避難所としての備品・備蓄等の整備を促す。 【事業の内容】 ・福祉避難所（災害時に要配慮者支援の目的で福祉施設等に開設する避難所）運営に必要な災害用備品及び備蓄品等の整備、職員のスキルアップ向上に資する危機管理に係る研修を行う際の費用の一部を補助。	619	292	・要配慮者の受入人数　5人 ・補助金利用事業所数　8事業所	前年度の本制度利用が2法人（3事業所）であったが、令和5年度は4法人（8事業所）に拡大し、本市の防災力の向上に貢献したと考えられる。今後も積極的な広報を行い、より多くの事業所での活用を図る。
12	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	避難行動要支援者サポート事業	【事業の目的】 地域住民の支え合い・助け合いによる自助・共助を基本とする要配慮者の災害時避難支援をはじめ、日頃からの地域での見守り等を通じて、安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する。 【事業の内容】 ・広報紙への防災情報掲載、防災イベントやシンポジウムの開催 ・浸水検知センサー等の設置 ・学校における防災教育推進検討会の設置及び教職員研修の実施 ・避難行動要支援者名簿の更新、情報提供同意者の名簿を避難支援者へ提供。　など	3, 295	1, 556	・市民防災研修の参加者数　228人 ・推進懇話会開催回数　1回 ・振り返りワークシート学校ごと実施率　100% ・防災教育推進検討会議　3回 ・防災教育授業実施回数　23回 ・災害時要配慮者避難支援事業登録者数　1849人 ・避難行動要支援者の情報提供への同意率　54. 5%	・市民防災研修では、228名に参加いただき、本市が進める避難のあり方について研修を実施した。 ・先行して実施していた小学校に続いて中学校でも統一的防災教育を実施し、縦にも横にもシームレスな防災教育網を構築した。 ・避難行動要支援者名簿の更新、情報提供同意者の名簿を避難支援者へ提供することで、顔の見える関係づくりの推進に繋げることができた。
13	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	スクールライフ応援事業	【事業の目的】 就学援助対象者へ、生理用品等の衛生用品費や家庭学習にかかる参考書、辞書等購入費、各種検定料及びインターネット等通信費の経費の一部を補助し、学齢期における生活の保障・充実を図る。 【事業の内容】 ・制度周知及び補助	9, 360	4, 450	・対象者支給率　100% ・周知回数　2回	保護者に事業の趣旨を理解いただくため、チラシを配布し、対象となる児童生徒の保護者に学校を通じて周知した。また、6月時点で就学援助の認定を受けている家庭に支給するプッシュ型で実施したため、対象者全員に支給することができた。
14	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	スクールサポーター配置事業	【事業の目的】 スクールサポーターを配置し、学習障害等発達障害や重度の障害がある児童生徒及び日本語理解が困難な児童生徒等、学校生活を送るうえで支援や配慮を必要とする児童生徒の学習環境を整える。 【事業の内容】 ・指導補助員としてスクールサポーターを配置する。	39, 525	10, 970	・スクールサポーター配置校　21校 ・スクールサポーター数　45人	学校から精査のうえ提出された要望数に対し、更に市教委で精査し配置した。障害のある児童生徒に他の子どもと同様に教育を受ける環境や安心して教育を受けられる環境を提供できた。
15	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト	【事業の目的】 AIを搭載した学びの個別最適化（個々の理解度に応じた学習）が可能となる教材の導入を進め、すべての児童生徒の学力の向上を図るとともに、福知山公立大学との連携を深めて情報分析を進め、ICTを活用した福知山ならではの最先端の教育を目指す。 【事業の内容】 ・福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト検討会議の開催 ・福知山公立大学の学習データに基づく分析によって、授業や指導の改善、学校運営の見直しなど学校現場にフィードバックするしくみづくりの研究・提案等の監修業務を委託	15, 119	7, 178	・小6全国学力状況調査（算数）における低学力層の割合の減　+5. 6 ・中3全国学力状況調査（数学）における低学力層の割合の減　+6. 8 ・小6全国学力状況調査（算数）における高学力層の割合の増　+6. 5 ・中3全国学力状況調査（数学）における高学力層の割合の増　-7. 2 ・検討会議の開催　7回	タブレットに導入した学習ソフト（デジタルドリル）の活用により作成された学習履歴を分析するツールを福知山公立大学と開発。加えて、児童生徒の心の状況を可視化するツール（すくすく）を開発した。分析結果を学校にフィードバックすることで児童生徒の学力向上につながる一助とした。
16	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業	【事業の目的】 先天性疾患の中で最も高頻度な疾病の一つの先天性難聴を早期発見するため、新生児聴覚スクリーニング検査に係る費用の一部を公費負担することで保護者の経済的負担を軽減する。 【事業の内容】 ・新生児聴覚スクリーニング検査費用を一部助成 ・母子健康手帳発行時に妊産婦健康診査受診券と共に新生児聴覚スクリーニング検査受診券を発行 ・京都府医師会と委託契約を締結し実施する ・府外で受診した場合は、償還払い制度により公費助成する。	1, 956	924	・受診結果が要精密検査である児のうち、4か月児健診時に管理中である児の割合　100% ・新生児聴覚スクリーニング検査受検率（4か月児健診）　94. 6%	妊婦健康診査受診券とともに新生児聴覚スクリーニング検査受診券を発行しており、出産後、退院までに医療機関で受検することが多い。その結果、精密検査が必要となったケースの経過は、4か月児健診の時に確認している。精密検査未受診の場合は、受診勧奨し早期の治療開始を促している。
17	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	はばたけ世界へ生短期留学事業	【事業の目的】 次代を担う中学生に、国際社会で未来を切り拓くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たなステップに挑戦する契機とする。 【事業の内容】 ・中学2年生15人を対象として、カナダへ10日間の海外短期留学を実施する。 ・事前の異文化交流学習及び現地視察企画等を行うとともに、本市福知山公立大学と連携し、専門講師派遣による英会話学習を行う。	14, 733	6, 965	・海外留学生徒数　15人 ・応募者数　91人	海外留学を通して日本ではできない多くのことを体験し、短期間ではあるが、生徒自身の自立や成長に繋がる機会となった。帰国後は、「長期海外留学を目標にしたい」「成長したコミュニケーション力を発揮していきたい」「将来の職業に役立てたい」など短期留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。

18	地域づくり連携推進事業	生涯現役・共生	高齢者世帯見守り事業	【事業の目的】 高齢者の引きこもりや孤立等を防止し、地域活動への参加促進を図る。 【事業の内容】 ・民生児童委員にひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等のお宅を訪問して頂き、社会参加のきっかけとなるチラシや熱中症対策物品を手渡しして頂く。	1,369	646	・ふれいあいいきいきサロン参加者数（延） 23,996人	開始初年度で集約型事業の参加者が増えた点や、民生児童委員の訪問活動が参加へのきっかけとなったとのアンケート結果があり、高齢者の地域活動へ一定の効果があったと考えられる。
19	地域づくり連携推進事業	生涯現役・共生	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業	【事業の目的】 「誰一人取り残さない」スマートシティを目指し、地域公民館10館でスマホやタブレット等身近なICT機器の便利な使い方や活用法を学ぶ、生涯学習市民講座を生涯を通じた学びの一環として開催する 【事業の内容】 福知山公立大学情報学部と連携し、教員及び学生が講師を務め、中央公民館及び各地域公民館計10館でスマホ講座を実施。	2,100	992	概ね満足された人の割合 90% 講座参加者数 184人 講座開催数 30回	令和5年度は、「スマホで調べよう！検索ツールの使い方」「スマホで健康生活」など、生活に役立つ8つのコースから各公民館が3つの講座を選択して実施し、各館各コース定員10名で、延べ184名の方が受講された。コースによつては参加枠を超える受講希望者があり、受講後アンケートの受講者満足度も高く、本市のスマートシティ推進計画実現に向けて有効性の高い取り組みとなった。
20	地域づくり連携推進事業	環境先進地	資源ごみ集団回収報奨事業	【事業の目的】 子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。 【事業の内容】 ・営利を目的としない団体による資源ごみ集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円(廃食用油の場合は1リットルあたり3円)の報奨金を支給する。	3,369	1,592	リサイクル率 20.4% 一人あたりのごみ排出量 515g/人日 資源ごみ集団回収量 1,123t	子ども会、PTA、福祉団体、老人会など多くの団体の協力により、R5年度は1,123tの資源ごみ集団回収することが出来た。当事業により、市民の自主的な活動を後押し、ごみの減量、リサイクルを進める、循環型社会のまちづくりの実現へ寄与した。
21	地域づくり連携推進事業	環境先進地	ごみ焼却施設周辺地域大気環境調査事業	【事業の目的】 ごみ処理施設を中心に市内各地域で環境測定を実施し、適正な環境の保全を図る。 【事業の内容】 住民サービスの充実、及び法令及び公害防止協定を遵守するため、焼却施設周辺、及びその他施設においても環境測定を行い、公害対策や環境保全につとめる。	3,621	1,711	事業所の公害苦情発生件数 41件	住民サービスの充実、及び法令及び公害防止協定を遵守するため、焼却施設周辺、及びその他施設においても環境測定を行った。R5年度の公害苦情発生件数は41件（ごみ処理施設に関する苦情はなし）となり公害対策や環境保全に寄与することが出来た。
22	地域づくり連携推進事業	環境先進地	不法投棄防止パトロール事業	【事業の目的】 不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図る。 【事業の内容】 ・不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する ・回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意、指導を行う。	4,213	1,991	回収量 4.08t パトロール回数 215回	パトロール活動は目標どおり215回実施し、不法投棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めることができた。不法投棄が無くなることを目標としているが、現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策をしつつ、生活環境の保全のためパトロール活動により、回収を継続していく。
23	地域づくり連携推進事業	環境先進地	3R（スリーアール）推進事業	【事業の目的】 家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R（スリーアール）に対する市民の意識向上を図り、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。 【事業の内容】 ・再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売。 ・3Rの重要性について学習後、布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域で学んだ技術を活用してもらう。 ・出張、訪問形式での3R勸奨、啓発活動の検討	2,550	1,205	リサイクル率 20.4% 体験教室参加者数 417人	環境に配慮した取り組み（環境学習（リサイクル体験教室）の開催及び修理再生家具等の抽選展示販売）を行い、ごみの減量化の啓発を行った。R5年度の体験教室参加者は417人となり、ごみの減量化、リサイクルの意識向上に寄与した。
24	地域づくり連携推進事業	京都産業	移住・定住促進事業	【事業の目的】 住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを推進し、移住者・移住希望者支援及び受入地域側の意識醸成並びに空き家等の利活用による地域の維持・活性化を図る。 【事業の内容】 ・受入地域の意識醸成のための支援 ・農山村地域の活性化及び集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援 ・移住希望者及び移住者に関する支援・情報発信等 ・京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金	6,676	3,156	・制度利用による定住者数 44人 ・新規移住希望者名簿登録数 206人 ・HP閲覧回数 51,843回	・本市の移住促進ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、各種支援制度の構築などの過去の積み重ねに加え等により、空き家バンク制度の成約実績（移住実績）も成果目標を上回った。（令和4年度 25世帯52人、令和5年度22世帯44人） ・多様化する移住者のニーズに合わせ、「テレワーク」や「二地域居住（都市部と地方に生活拠点を持つライフスタイル）」にも柔軟に対応していく必要がある。

25	地域づくり連携推進事業	京都産業	夜久野高原・道の駅支援事業	【事業の目的】 京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。 。【事業の内容】 ・夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントへの補助金交付	627	295	高原まつり来場者数 16,000人 農林商工祭来場者数 1,500人 やくの高原まつり補助額 548千円 夜久野農林商工祭補助額 79千円	それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、想定以上の集客があった。一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており、一定の成果を上げていると考えている。
26	地域づくり連携推進事業	京都産業	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	【事業の目的】 空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。 【事業の内容】 ・福知山市及び福知山まちづくり株式会社のHPにて、中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載し、情報発信を行う。 ・物件所有者や利用希望者の申請補助、物件の掘り起こし、物件内覧、相談窓口及び手続業務等を委託する。 ・ストックバンク登録物件を利用し、新規開業をする際に、店舗改修等に対して補助金を交付する。	8,363	3,953	新店舗開業数(年) 10件 新規登録物件数(年) 2件 新規利用登録者数(年) 8人	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進める上で、新規物件の掘り起こし、福知山まちづくり株式会社による情報発信や空き家を活用したイベント等の開催を通じて、まちなかへの移住や開業に対するニーズを喚起できた。また、ストックバンクを活用して開業した店舗を紹介するチラシの作成を行う等、ストックバンク制度の周知及び新規物件と新規利用希望登録者の掘り起こしに努めた。
27	地域づくり連携推進事業	京都産業	まちなか賑わい推進事業	【事業の目的】 鉄道のまち福知山の文化的重要施設の適切な維持管理を行うとともに、交通量調査等をはじめとした中心市街地における活性化状況の調査分析を通じ、福知山市のまちなか賑わいの推進を図る。 【事業の内容】 ・中心市街地通行量調査(平成22年から年1回実施) ・福知山鉄道館ポッポランドの維持管理・運営 ・城下町福知山・街歩き観光促進事業(福知山パーキング利用者の駐車料金負担)	11,198	5,294	測定地点7カ所の歩行者・自転車通行量 3,518人/日 ポッポランド2号館開館日数 307日	城下町としての歴史的資源、文化的資源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで、まちなかのにぎわい創出や商業の活性化につなげることができた。また、R5年度は前年度比、時間駐車総台数106%、まち歩き利用台数110%と好調でありまちなかの賑わいづくりに寄与することが出来た。
28	地域づくり連携推進事業	京都産業	まちづくり会社活動支援事業	【事業の目的】 福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進すること目的に、その実施事業に対して支援を行う。 【事業の内容】 ・福知山まちづくり(株)が実施する中心市街地活性化にかかる事業に対する補助金の交付。	1,840	869	ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数 1軒 独自イベント開催回数 4回	各店舗の来店者数の集約、営業活動及びイベント、市等関係団体との共同により商業の活性化を図った。また、「中心市街地活性化協議会」の法定構成員であった知見とネットワークを活かし、まちづくり事業推進の役割を果たした。
29	地域づくり連携推進事業	京都産業	福知山市産業支援事業	【事業の目的】 福知山産業支援センターを運営し、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うことで地域経済の活性化を図るとともに、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。 【事業の概要】 ・センター長による相談業務により、事業者自身が気づいていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案する。 ・市内の小規模企業者が、市内において製造、加工、開発された製品及びサービス等を不特定多数の者に周知することを目的とした展示会等への出展及びECサイトの構築にかかる経費の一部を補助金として交付する。	24,270	11,474	販路拡大や売上up等につながった件数 135件/年 相談件数 930件/年 販路開拓支援事業補助金支給件数 6件 自社ECサイト構築支援事業補助金支給件数3件	相談者への後追い調査によって聞き取った成果やニーズを把握・反映することにより、相談機能や利用者の満足度の更なる向上に努めた。令和4年度に新規創設した自社ECサイト構築にかかる補助金の利用件数が1件しかなかったため、令和5年度から補助率を4分の1から2分の1に拡充し、商工会議所、商工会、産業支援センターと連携しながら積極的に広報を行った結果、3件の利用があった。
30	地域づくり連携推進事業	京都産業	循環型森林整備モデル事業	【事業の目的】 夜久野地域において循環型森林整備をモデル的に行い、市内全域に循環型森林整備を波及できるよう検討を進める。 【事業の概要】 ・モデル地区における森林整備に関する施業手法等のアドバイス ・モデル施業により得られた知見から、市内全域への本格展開に向けた課題と解決策の整理	1,423	393	本事業による木材搬出量 125㎡ 再造林面積 0.2ha	本事業によりモデル的に施業を実施し、循環型森林整備に関する事業体のノウハウ習得と市内全域に波及させるための実施方針、制度設計の磨き上げを行うことが出来た。
31	地域づくり連携推進事業	文化の力	体育・文化振興事業	【事業の目的】 小中学校の体育・文化クラブの大会の円滑な運営と部活動の充実と発展、競技スポーツや音楽等の特性に触れさせながら、意欲・関心を高め心身の健全な発達とあわせて競技力や技術力の向上を図る。 【事業の概要】 ・中学校の各種体育・文化クラブの大会運営補助及び体育大会会場使用料等の経費を支出する。 ・主として旧三町小中学校の各種大会参加時に要するスクールバス等の送迎の経費を支出し、大会へ安全に参加できるよう交通手段の確保を図る。	6,623	3,150	・大会回数 5回 ・近畿大会出場人数 33人 ・大会参加に係るスクールバス特別運行利用校数 23校	各種大会出場を目標として努力する子どもたちへの支援及び大会会場での安全の確保ができた。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したこともあり、全ての大会が実施できた。

32	地域づくり連携推進事業	文化の力	丹波漆等伝統文化活用・支援事業	【事業の目的】 福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、丹波漆の文化的特性、伝統を活かしながら次の世代へと継承・発展させる。また、シティブロモーション促進の一環として、本市の顔となる文化・産業の育成と振興およびブランド化を進める。 【事業の概要】 ・丹波漆生産拡大のため苗木や獣害防止柵の購入 ・伝統工芸展示会等への参加支援、「丹波漆」の魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販路等を拡大する取り組みの実施 ・後継者の育成支援補助金	245	115	後継者の育成 1人 後継者育成を目的とした展示会のための補助金交付 2件 環境整備に使用する資材購入のための補助金交付 2件	丹波漆、丹後和紙、由良川藍の保存・継承に取り組む団体に対し、環境整備や後継者育成のための補助金交付を行った。また、小売店にて漆製品の委託販売を行い、本市の顔となる文化・産業の育成と振興に寄与した。
33	地域づくり連携推進事業	文化の力	市民文化活動推進事業 他文化振興関連事業	【事業の目的】 多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とする。 【事業の概要】 ・公益社団法人福知山市文化協会への事業支援補助、共催事業 ・ジュニア世代の全国大会等への派遣費補助（令和元年度開始） ・文化団体への後援等（賞状筆耕、副賞の購入）	6,060	2,865	全国大会出場補助金利用数 5件 文化協会との共催事業数 6件	福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できた。また、各学校回りをを行い、説明を重ねることで全国大会出場補助金やジュニア文化賞なども広く認知してもらうことができ、R5年度に目標としていた補助金利用数を達成することが出来た。
34	地域づくり連携推進事業	文化の力	学校給食センタージビエ活用事業	【事業の目的】 地産地消を推進し、児童生徒及び教職員に地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらうことを目的とし、シカやイノシンなどのジビエを使用した献立を学校給食に提供する。 【事業の概要】 ・年2回を目標に学校給食に提供する ・その内、1回はドッコイセ大使である杉本シェフ考案のジビエを使ったメニューを提供する ・通常使用している食材とジビエ食材との差額分を福知山市学校給食会へ負担金として支出する ・食材の調達や献立については福知山市学校給食会が行う	875	413	・提供回数 2回	ジビエは狩猟期間が限られており、学校給食には一定の量が必要となるなどの課題はあるものの、ジビエを活用した学校給食を2回提供することが出来き、地産地消の推進や多様な食文化への理解に貢献した。
35	地域づくり連携推進事業	その他	公民連携事業	【事業の目的】 「公共空間」と「民間事業者による利活用」のマッチングを促進し、公共施設をビジネスにつながる魅力的な空間とするための仕組みづくりや新たな公共サービスの提供等を推進することによって、公共施設に関するコスト削減や将来にわたっての市民の負担軽減と行政サービスの充実を図り、持続可能な自治体運営を促進する。 【事業の概要】 ・廃校をはじめとする未利用公有財産の民間事業者による活用を実現する取組を実施 ・未利用公有財産の活用を実現するための民間提案制度専門部会を実施 ・廃校備品販売会・図書譲渡会を開催 ・指定管理施設の適正な管理運営を図るための第三者評価委員会を実施	4,804	2,271	活用実現した施設の敷地面積22092㎡ 指定管理者制度の制度改良 2件 サウンディング参加事業者 34者 指定管理者制度第三者評価委員会 4回	廃校マッチングバスツアーや16校中9校の活用実現により、「福知山市廃校Re活用プロジェクト」が広く知られ、更なる施設活用の実現と市のPRをすることができた。 指定管理者制度では、施設の適正な管理運営に向けて第三者評価委員会による指導・助言を行い、施設の適正な管理運営を図ることができた。
36	市町村間連携推進事業	交流と連携	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	【事業の目的】 有害鳥獣を適正に処分するために中丹3市（福知山市、舞鶴市、綾部市）と京都府で協力して整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し、計画的な捕獲を推進する。 【事業の概要】 ・中丹地域有害鳥獣処理施設の管理運営	36,989	16,393	有害鳥獣による農作物年間被害額 34,224千円 年間処理頭数 9,032頭	有害鳥獣対策事業の推進により、農作物被害額は減少傾向であったが、令和5年度は、特に果樹、野菜の被害が多く被害額が増加した。一方で、年間処理頭数は、目標の4,205頭を大幅に上回り、有害鳥獣の捕獲に対し大きな成果となった。
37	市町村間連携推進事業	交流と連携	由良川治水促進同盟会事業	【事業の目的】 由良川改修を着実に執行するために、由良川沿川5市1町で構成する「由良川治水促進同盟会」による要望活動の展開、関係団体活動に参加する。要望活動を実施することで、由良川緊急治水対策を含む由良川改修事業の促進が図られ、沿川住民の安全・安心に寄与する。 【事業の概要】 ・由良川治水促進同盟会による要望活動の展開や関係団体の活動への参加 ・由良川改修事業等の円滑な進捗のため、関係部署や地元自治会、地権者との協議・調整 ・由良川の良い環境保全や取り組み等について活動や支援の実施	377	186	同盟会活動回数（年間）14回	過去の浸水被害により、治水事業の促進は市民のニーズが非常に高い。R5年度は、当初目標の10回を超えて14回の要望活動を実施することが出来、由良川緊急治水対策を含む由良川改修事業の促進が、沿川住民の安心・安全に寄与した。

38	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	夜久野高原管理事業	【事業の目的】 本市と兵庫県朝来市との府県境にある宝山公園は、森林浴やバードウォッチング、夜久野高原八十八か所石仏を巡るハイキング等を楽しめる観光スポットである。両市にまたがる夜久野高原を中心とした観光客等の利便性と環境衛生の確保を図り、地域の活性化と振興を促進するため設置された公園内の施設管理を行う。 【事業の概要】 「夜久野高原さわやかトイレ」の事業費の一部負担	413	204	苦情件数 0件 清掃回数 310回	本事業の当初の目標で合った清掃回数310回を行うことができ、京都府唯一の火山である宝山の、観光拠点管理を行うことができた。
39	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	広域観光振興事業	【事業の目的】 「北近畿広域観光連盟」や「大江山観光開発協議会」等の広域観光団体と連携することで、観光行政の各事業を円滑に推進し、広域的に観光振興を図る。 【事業の概要】 北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会負担金を支払い、広域的にそれぞれのエリアの観光振興を図る。	718	355	観光入込客数 941,201人 連携する広域観光団体 3団体	本市が参画する広域観光団体は、海の京都DMO、森の京都DMOのほか、京都府観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、大丹波観光推進委員会があり、それぞれの団体に独自のネットワークや強みがある。R5年度は前年度と比較し、約1.15倍の観光入込客数を獲得することが出来た。今後も、各団体のネットワークや情報発信のプラットフォームをさらに活用し、本市の魅力を発信していく。
40	行政サービス 改革推進・小規模市町村支 援事業	その他	RPA導入事業	【事業の目的】 ICTの利活用による業務効率化、サービス向上を目的として、RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）の導入により、職員がマウスやキーボードを操作して行う単純・定型的かつ大量のデータ入力作業等の一部を自動化し、行政コストの削減、及び窓口業務や企画立案業務へ注力できる環境を整備する。 【事業の概要】 ・AI-OCR、RPAに関する職員研修の実施 ・自動化対象となる事務処理の選定 ・AI-OCR、RPAの導入による事務処理時間の削減 ・マクロ等による事務処理時間の削減	4,197	1,331	・事務処理の時間短縮 1324時間 ・適用業務数 22事業 ・職員向け勉強会 8回	令和5年度は削減超過勤務相当額として345万円の効果があり、RPA等のライセンス調達に係るコストに対して一定の成果があった。（例：AI-OCR、RPA導入による削減時間：653時間（放課後児童クラブ出勤簿データ作成、保育園入園申請登録、各種アンケート集計など×19業務）、マクロ等による削減時間：671時間（有害鳥獣捕獲実績の様式作成など×3業務））